



「あいさつ」で育てる豊かな心

准校長 岡崎 恵子

今年度准校長に着任しました ^{おかざき けいこ} 岡崎 恵子 と申します。昨年度まで、教育委員会 教育課程推進室に勤めておりました。創立以来小中9年間のつながりを大切にした特色ある教育実践を展開している霧が丘学園に着任できたことを幸せに感じています。地域の方々、ご家庭の方々とともに「子どもの育ちの姿」を語り合いながら、充実した教育活動を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新年度が始まり3週間余りが過ぎようとしています。子どもたちは新しい学年、学級での生活に徐々に慣れてきました。「1年生に優しくしたい」「自分で考えて行動したい」「あいさつをしっかりとしたい」一人ひとりが自分のめあてをもって励んでいます。こういった子ども一人ひとりの思いや願いを大切に、教職員がチームとなって支援・指導していきたいと思っております。

【「あいさつ」で育てる豊かな心】

朝、小学部の校門で子どもたちを迎え、「おはようございます」とあいさつをすると、個性溢れるあいさつがかえってきます。

- ・立ち止まって「准校長先生おはようございます」 ・手を振りながら「おはようございます」
- ・恥ずかしそうに「おはようございます」 など

放課後、中学部へ行くと部活動をしている子どもたちがいます。「こんにちは」とあいさつをすると、相手や場に応じたあいさつがかえってきます。

- ・姿勢を正して「こんにちは」 ・軽く頭を下げて「こんにちは」
- ・しっかりと目をみて「こんにちは」 など

どの子どもその子なりのあいさつをしてくれます。あいさつを交わす度に、わたしはあたたかい気持ちになります。あいさつを交わすと、なぜこんなにも心があたたかくなるのでしょうか。改めてあいさつのはじまりや語源を調べてみました。(所説ありますが、いくつかを紹介します)

- ・「おはようございます」は、「お早くから、ご苦勞様でございます」の略で、朝早くから働く人に向かって言う労いの言葉が略されたもの。歌舞伎の世界から始まった。
- ・「こんにちは」は「今日(こんにち)はご機嫌いかがですか」「こんにちは良いお天気ですね」など日中に会った人に話しかけ、体調や心境を気遣う言葉が略されたもの。
- ・挨拶の「挨拶」は押す、「拶」は迫るという意味があり、自分の心を開き、相手の心を推し量るという意味が込められている。

調べてみると、改めてあいさつをするときに大切なことは「あいさつをする」という行為そのものとともに、相手のことを認めたり思いやったりする気持ちだということが分かります。あいさつをとおして子どもたちの豊かな心を育てていきたいと思っております。新年度にあたり、ご家庭でも改めて「あいさつ」について話題にしていいただければ幸いです。

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<霧が丘学園ホームページ>

URL <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es-jhs/kirigaoka/>



QRコード